

お世話になっている皆様方へ

雲の晴れ間の青空も懐かしく、梅雨明けが待ち遠しい時節となりました。皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素はももやま児童館にご厚意賜りまして、誠にありがとうございます。

何ヵ月か前の新聞で 余命宣告をされた女性の記事に出会いました。彼女は辛い闘病生活をご主人に支えられながら過ごしました。常に希望を捨てず 前を見つめていた彼女の姿に ご主人が励まされたと記されていました。そして、最後に故人となった彼女の言葉で記事は締め括られていました。「一日一日を丁寧に『暮らす』、一つ一つに心を込めて『暮らす』、その積み重ねが『生きる』ということなのだ、強く思いました」人生には 想定していない運命が降りかかることもあります。凄惨な事件や自然災害…不安は後を絶ちません。私はこう思いました。人は「生きている時や日々を尊いと実感する」ことが 自己の生きる意味を深めていく。その深みが生きてきた証になるのかもしれない。自分の人生を尊く営む…。子どもたちが様々な社会状況のなかで自己の人生を嘆き 諦めたりせず 生きていく意義を感じることができる土台を、子ども時代に思い切り遊び、喜び、何かに挑戦することで獲得してほしいと、この記事を読み心から願いました。生きていく意義…子どもたちと共に日々深めていきたいと思えます。

6月の終わりに…



社会福祉法人健光園

ももやま児童館

波多野 里美